

## ドイツAugsburg大学での長期滞在

物理学専攻 博士課程2年 白井 達彦

ALPS 海外長期派遣制度を用いて、10月11日から12月29日までの三ヶ月間、ドイツのAugsburg大学に滞在した。今回、周期外場の下での量子ダイナミクスや輸送現象に関する研究の第一人者であるHänggi教授、Denisov教授のもとを訪れた。彼らとの議論を通して、これまでの研究で行ってきた、高周波で強い周期外場のかかった系の散逸環境下での定常状態について理解を深めることを目的とした。

大学では、以下の写真のメンバーと時間を共にし、お互いの研究内容から他愛のない話まで、新たな環境での生活から多くの刺激を受けた。Hänggi教授、Denisov教授、Juzar博士(写真左下)と今後も連絡を取り、共同研究を続けていくこととなった。

また、滞在途中にはベルリン工科大学のProf. T. Brandes, Dr. V. M. Bastidasのもとを訪れ、セミナー発表を行った。研究所の多くの人が、同じ共振器系のモデルについての研究や量子開放系についての研究を行っており、彼らと非常に有意義な議論を交わすことができた。

このように今回の滞在では、多くの研究者と交流を持つことができた。この貴重な機会を与えてくださったALPS関係者の方々や受入れ先の方々に感謝するとともに、この経験を活かすべく彼らとの連絡を保ち続けられるよう努力していきたい。



Augsburg 市街地にあるレストランにて